キラリまきらっこ

「本気」が人を引き付ける！

校長　前三盛　敦

42日間の夏休みが終わり、2学期がスタートしました。元気でたくましくなった子どもたちに再会することができて、とても嬉しく思います。保護者の皆さまにおきましては、大変お忙しい中、子ども達の生活リズムを保ち、豊かな学習や体験活動を計画、実施していくことは大変だったと思います。ほんとうにありがとうございました。

今回の夏休みは、大きな事故、事件もなくホッとしています。各家庭での安全指導もありがとうございました。

さて、2学期スタートにあたり、校長から子どもたちに下記のような話をしました。

この夏、甲子園の入場者数（実際に甲子園に行って応戦した人）は、なんと62万人を超えました。また、決勝戦（慶応義塾高校と仙台育英高校）のテレビの視聴率は、20%でした。これは、日本中の5人に1人（2400万人以上の人）がテレビで決勝戦を観ていたことにになります。

なぜ、高校野球は、野球が好きな人も、そうでもない人も、野球をやったこともない人も、ルールさえ知らない人も、こんなに試合を観て、応援するのでしょう。

それは、画面に映る高校球児が、一人残らず「本気」だからです。

本気でプレーする人、全力でプレーする人を見て、こちらも感動するからです。だから、毎年高校野球を観るのです。みんな本気でがんばっている若者の姿を観たいのです。

本気は、人の心を動かします。逆にいうと、本気じゃない人は、周りの人の心を動かしません。この「本気は、人の心を動す」ということを、ぜひ、2学期、自分の心にずっと持っていて欲しいと思います。

2学期は、運動会があります。宿泊学習や修学旅行があります。真喜良まつりや八重山地区音楽発表会など多くの行事があります。2学期は、みんなが主役となって活躍し、多くの人を感動させるチャンスの学期です。

2学期、真喜良っ子が、本気で学習やスポーツ、練習にがんばり、周り人を感動させるぐらい成長して欲しいと校長先生は期待しています。そして応援しています。・・・・・

保護者の皆さま、上記の通り2学期はたくさんの行事があります。「本気」の素晴らしさ、「本気」が自分を成長させ、周りを感動させることを伝えながら、子どもたちが「本気」になる環境や舞台をともに創っていきましょう。2学期もどうぞよろしくお願いします。